

東京大学教養学部オルガン演奏会

第110回演奏会

「イタリア展」を記念して(イタリア大使館後援)

2007年6月7日(木) 18時30分

Thu 7 June 6:30 pm at Komaba Campus, The University of Tokyo

オルガン: グレゴリー・ダゴステイーノ

Organ: Gregory D' Agostino

ヴァイオリン: 江副麻琴, 鈴木絵由子

Violin: Makoto Ezoe, Eyuko Suzuki

ヴィオラ: 高木真悠子 チェロ: 磯野太佑

Viola: Mayuko Takagi

Cello: Taisuke Isono

【オルガンと弦楽四重奏】

W・A・モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

協奏曲 ニ長調 より 第一楽章 Konzert in D-Dur KV 175 1. Satz: Allegro

【オルガン独奏】

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

フーガ ロ短調(コレッリの主題による) Fuge in h-Moll (über ein Thema von Corelli) BWV 579

【二つのヴァイオリンと通奏低音(チェロとオルガン)】

A・コレッリ Arcangelo Corelli (1653-1713)

トリオ・ソナタ ロ短調 Sonata da chiesa a tre in si minore, op. 3, n. 4

Largo, Vivace, Adagio, Presto

【オルガン独奏】

山本純ノ介 Junnosuke Yamamoto (born 1958)

瞬間のオルゲルポイント(依頼作品, 初演) Momentaner Orgelpunkt (Auftragswerk, Welturaufführung)

【オルガンと弦楽四重奏】

G・F・ヘンデル Georg Friedrich Händel (1685-1759)

オルガン協奏曲 ヘ長調 Orgelkonzert in F-Dur, Op. 4, Nr. 5

Larghetto, Allegro, Alla Siciliana, Presto

【オルガン独奏】

B・パスクイーニ Bernardo Pasquini (1637-1710)

パストラーレ Pastorale

G・ゲラルデスキ Giuseppe Gherardeschi (1759-1815)

オルガンのための軍隊行進曲風ソナタ Sonata per organo a guisa di banda militare che suona una marcia

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach

前奏曲とフーガ イ短調 Praeludium und Fuge in a-Moll BWV 543

第111回演奏会

2007年6月28日(木) 18時30分

Thu 28 June 6:30 pm at Komaba Campus, The University of Tokyo

オルガン: コリン・アンドリュース, ジャネット・フィシェル

Organ: Colin Andrews, Janette Fishell

【連弾】

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

ブランデンブルク協奏曲 第三番 ト長調 より 第一楽章 (J・フィシェル編曲)

aus dem 3. Brandenburgischen Konzert G-Dur BWV 1048 1. Allegro moderato (Bearbeitung von J. Fishell)

【独奏】 ジャネット・フィシェル Janette Fishell

D・ブクステフーデ Dietrich Buxtehude (ca. 1637-1707)

前奏曲 ト短調 Praeludium g-Moll BuxWV 149

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach

『十八のコラール集』より「いと高きところには神にのみ栄光あれ」ト短調

Choralbearbeitung „Allein Gott in der Hoh sei Ehr“ BWV 663 aus „Achtzehn Choräle von verschiedener Art“

D・ブクステフーデ Dietrich Buxtehude

前奏曲 嬰へ短調 Praeludium fis-Moll BuxWV 146

【連弾】

T・トムキンス Thomas Tomkins (1572-1656)

二人の奏者のためのファンシー A fancy for two to play

【独奏】 コリン・アンドリュース Colin Andrews

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach

前奏曲とフーガ ト長調 Praeludium und Fuge G-Dur BWV 541

H・ハウエルズ Herbert Howells (1892-1983)

詩篇前奏曲 Psalm-Prelude No. 1 Set 1

P・パターソン Paul Patterson (born 1947)

トッカータ「蛍光」 Toccata "Fluorescence"

【連弾】

P・I・チャイコフスキー Петр Ильич Чайковский (1840-1893)

バレエ組曲「くるみ割り人形」より「花のワルツ」(J・フィシェル編曲)

Вальс Цветов из Балета «Щелкунчик» (аранжировка Ж. Фишеллом)

東京大学教養学部 900 番教室 (講堂)

入場無料(先着 500 名) 開場 18 時

主催: 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会

<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> tel 03-5454-6139 (美術博物館)



オルガン設置 30 周年



演奏者プロフィール

第110回演奏会

2007年6月7日(木)18時30分(開場18時)

グレゴリー・ダゴスティノ Gregory D'Agostino (オルガン)

9歳より教会オルガニストを務め、その早熟ぶりを発揮。ジュリアード音楽院を主席で卒業後、同大学院にて音楽博士を取得。大学院在籍中にヘンデル・オルガン協奏曲コンクールで第1位受賞。トゥールーズ・オルガン・アカデミー(フランス)に留学。オルガンをギロック、デュー・タール、ダラス、ラガセ、マリー＝クレール・アランに、チェンバロをバルティに師事。リンカーンセンター財団専属演奏家を経て、現在ジュリアード音楽大学客員講師(音楽理論)、米国各地はもとより、独、仏、英、露、チェコ、スロヴァキア、香港においてリサイタルを開催するほか、数々の国際音楽フェスティバルの招待を受け、活発な演奏活動を行っている。モスクワ室内交響楽団、香港フィルハーモニー、スロヴァキア放送交響楽団のソリストとしても活躍。その豊かな音楽性とそれを支える演奏技巧の卓越性はデビュー当初から高く評価され、最近においてもニューヨーク・タイムズ紙上で「感性豊かな歌の響きをもちつつ、純粋で活気に満ちた、技巧の上でも非常に優れた演奏」、ワシントンポスト紙上で「抜きん出た才能」による「完璧な演奏」等と絶賛された。



レパートリーはバッハ、ヘンデル、シューマン、ブラームスなど多岐にわたるが、とりわけリストとフランス・ロマン派を得意とし、その色彩豊かな音楽性、緩急自在の絶妙なテンポ、卓越した表現力は数多くの識者と愛好家を魅了している。すでに7枚のCDを発表、現在はバッハ・オルガン作品全曲の録音に力を注いでいる。

弦楽合奏

江副麻琴 Makoto Ezo (ヴァイオリン) 桐朋学園大学音楽学部研究科在学
鈴木絵由子 Eiyuko Suzuki (ヴァイオリン) 桐朋学園大学音楽学部在学
高木真悠子 Mayuko Takagi (ヴィオラ) 桐朋学園大学音楽学部在学
磯野太佑 Taisuke Isono (チェロ) 東京大学経済学部在学

山本純ノ介 Junnosuke Yamamoto (作曲)

東京藝術大学大学院作曲科を修了。文化庁派遣芸術家在外特別研修員としてベルリンに留学。現在千葉大学准教授、東京芸術大学音楽学部作曲科非常勤講師。代表作品として、《法頭伝交響曲》、《迦樓羅～黎明の響～》、《交響曲3番五重塔》、室内楽に、《碑文 (EPITAPH)》、《語り》、声楽曲に、《融合》など、数多くの作品がある。

第111回演奏会

2007年6月28日(木)18時30分(開場18時)

コリン・アンドリュース Colin Andrews (オルガン)

イギリス、プリストル生まれ。ロンドン王立音楽アカデミーにてD・ホークリッジ、M・マクドナルドのもとでオルガンとピアノを学んだ後、スイス、ジュネーブでリオネル・ログの薫陶を受けた。1980年、また1982年にダブリン国際オルガンコンクールで受賞。1993年には、それまでの演奏経歴によりロンドン王立音楽アカデミーの協会の栄誉を授けられた。

ソロの演奏会オルガニストとして世界中に公演旅行をするかたわら、夫人のジャネット・フィシェルとも共演。ロンドン王立フェスティバル・ホール、ケンブリッジ・キングスカレッジを初めとする世界各地の著名な演奏会場で、演奏会を行ってきた。

演奏家としてばかりではなく、ブダペストのフランツ・リスト・アカデミーで講師として教育活動も行ってきた。またその演奏はBBCのテレビ・ラジオを通して世界各地に放送されている。

ミシガン大学の国際オルガン・コンクール審査員。1995年、1997年のグダニスクでのスウェーリング・コンクール審査員。アメリカ在住。ゴールズボロの聖ステパノ教会オルガニスト兼音楽監督。2004年夏にその合唱団を率いて海外コンサートを行った。2000/01年には東カルフォルニア大学でオルガンと教会音楽を指導。

ジャネット・フィシェル Janette Fishell (オルガン)

インディアナ大学とノースウエスタン大学でオルガン演奏の学位取得。A・ワーリング、C・ホロウェイ、W・ジャンセン他に学んだ。在学中から、鍵盤楽器部門の年間若手奏者に選ばれた。サントリー・ホール、ケンブリッジ・キングスカレッジ、ベルリン歌劇場、フランツ・リスト・アカデミー、プラハ春の音楽祭などでの演奏活動や審査員としての関与をつづけて、演奏会オルガニスト、また教師として国際的に認知されている。オルガン曲や演奏法についての著作も多い。

M・デュブレ、P・エベン、J・S・バッハの曲のソロ演奏や、夫コリン・アンドリュースとのデュエット演奏のCD録音。BBCをはじめ世界各地の放送局からライブ演奏を放送。数々の若手オルガニスト育成国際コンクールの審査員を務め、現在はAGO州立若手演奏家コンクール審査委員長。

イースト・カロライナ大学音楽学部教授、グリーンヴィルの聖ポール教会オルガニスト兼音楽監督。同教会の合唱団を率いて各地で演奏活動。多数のCDを発表している。

アジア、オセアニアから南アメリカ、ヨーロッパにわたる演奏旅行、教育活動が企画されている。



秋の演奏会

第3回室内楽演奏会 2007年10月25日(木)18時30分

ハーブ：松岡 みやび ソプラノ：甲田 さくや

第112回オルガン演奏会 2007年11月8日(木)18時30分

オルガン：吉田 文

寄付のお願い

■オルガン運営募金のお願い

東京大学教養学部のパイプオルガンは、1977年に森ビル社長であられた故森泰吉郎氏によって、緑に囲まれた故森泰吉郎氏によって、緑に囲まれた900番教室(講堂)に設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、東大の学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

オルガン委員会では、この公開演奏会の開催費用にあてるための寄付を広く募っております。お志は、オルガン募金世話人(=オルガン委員)にお渡し頂くか、右記の銀行に振り込み頂ければ幸いです。振り込み証明書のコピーを世話人代表にお送り頂ければ、領収書をお送り致します。よろしくお願いたします。

■募金要項

1. 金額1口1,000円(これ以下でも構いません。多い方も歓迎)
2. 振込先：下記のいずれかの銀行の普通預金口座

口座名義：各銀行共通
東大教養学部オルガン運営募金
世話人代表 川中子義勝(かわなかよしかつ)

口座番号：三菱東京UFJ銀行渋谷中央支店 口座番号 5887975
三菱東京UFJ銀行渋谷支店 口座番号 4741082
みずほ銀行渋谷支店 口座番号 934287
横浜銀行下北沢支店 口座番号 0059803
三井住友銀行渋谷駅前支店 口座番号 3851081

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会
<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> tel 03-5454-6139 (美術博物館)